

古典的ケース CASE7

非常に裕福で、知的なビジネスマンが私のもとにセッションに訪れたことがあった。生来彼は非常に几帳面で周到だが、短気でほんの少しの否定にも我慢がなかった。ほんの少しの否定で彼は乱暴になった。

彼の仕事の性質上、彼は一日中椅子に座り通しだった。

そして、突然彼の胸部に切るような鋭い痛みが発生した。

胸膜炎と診断され、これは彼をかなり動揺させた。

彼はホメオパシー療法を選び、友人に同伴されて私のもとを訪れた。

私が彼の症状を尋ねると、彼はただ友人を指差し、その友人が彼に代わって全てを説明するのだった。

私がますます多くの質問をすると、彼はイライラし、カッとして「こんな馬鹿げた質問に何の意味があるのだ？あんたは私を治すんじゃないのか？」と私に叫んだ。

私は彼に二服の Rx.30 を与えた。一服は直ちに、もう一服はもし必要であるならば一時間後に。

最初の一服を飲んで5分以内に、彼が車に乗って去るまでに、痛みは消え去っていた。